

I 県民の命と尊厳を守る

〔R7：909億円→R8：950億円（前年度比42億円（4.6%）増）〕

1. 安全・安心な暮らしの実現〔R7:666億円→R8：696億円（前年度比30億円（4.5%）増）〕
- (1)南海トラフ地震対策の強化
- ①「いのちを守る防災・減災総合補助金」による市町の避難所の環境改善、孤立地域対策、津波避難タワー整備等の支援〔398百万円〕
- ②「三重県南海トラフ地震対策推進条例（仮称）」の制定の着手と「三重県広域受援計画」の改定などの取組の推進〔28百万円〕
- ③県内市町や隣県と連携した災害廃棄物処理に係る広域訓練・仮置場候補地の位置情報のデジタル化・「三重県災害廃棄物処理計画」の改定に向けた調査〔35百万円〕
- ④木造住宅の耐震診断、耐震補強設計、耐震補強工事、耐震性のない空き家の除却等の支援〔216百万円〕
- (2)医療・介護提供体制の確保、健康づくり
- ①人口動態の変化や昨今の医療機関の厳しい経営状況等をふまえ、医療需要等の調査分析を実施し、新たな地域医療構想の策定に着手〔29百万円〕
- ②「三重県医師確保計画」の見直しや「医師偏在是正プラン」の策定により、総合的な医師偏在対策を推進〔838百万円〕
- ③看護職員、薬剤師、介護人材確保に係る計画等の見直しと取組の推進〔68百万円〕
- ④分娩取扱施設の施設・設備整備や施設継続、事業承継後の安定経営のための支援〔578百万円〕
- ⑤新興感染症発生初動期の迅速な対応のためのマニュアル策定〔5百万円〕
- (3)防犯等安全・安心の確保
- ①通訳・翻訳の運用機会の増加に対応するため、部内通訳人を養成〔6百万円〕
- ②特殊詐欺等の被害から県民を守るための広報啓発の実施〔28百万円〕
- ③犯罪立証のためのデジタル・フォレンジック環境の高度化〔29百万円〕
- ④ツキノワグマ対策のため市町が実施する緊急銃猟やパトロール等への支援等〔82百万円〕

2. 子どもの健やかな成長を支える環境づくり〔R7：89億円→R8：97億円（前年度比8億円（8.5%）増）〕
- (1)幼児教育・保育の充実
- ①「みえ子ども・子育て応援総合補助金」による市町支援〔300百万円〕
- ②中高生に向けた保育士として働く魅力の発信〔2百万円〕
- (2)困難な状況にある子どもや家庭への支援
- ①いじめ対策に係る学校問題ADR（裁判外紛争解決手続）等の導入〔4百万円〕
- ②子ども食堂や子ども向け体験活動を実施する団体への支援〔55百万円〕
- ③フリースクールなどの子どもの居場所づくりへの支援〔28百万円〕
- ④校内教育支援センターの一層の設置促進〔27百万円〕
- (3)児童虐待防止・社会的養育の推進
- ①児童相談所と警察が迅速に児童虐待の情報共有を行うシステムの構築〔14百万円〕
- (4)子どもが豊かに育つ環境づくり
- ①子ども医療費補助金について新たに中学生通院医療費を対象に拡大（補助率1/8）〔116百万円〕
- ②5歳児健診に係る研修や医師派遣に係る市町支援〔11百万円〕
- ③学校給食への地場産物の活用促進に向けた新たな連携モデルの構築〔5百万円〕
- (5)学校における働き方改革と教員不足への対応
- ①自治体協議会に参画し教員採用試験の問題作成を委託〔3百万円〕
- ②部活動の地域展開推進のため指導者配置等への支援〔391百万円〕
- (6)自分らしく生き抜いていく力の育成
- ①児童・生徒の自己肯定感を涵養する取組の更なる推進〔2百万円〕
- ②県内企業の理解促進のため学校と企業をつなぐコーディネーター活用〔10百万円〕
- ③多様な学びを提供できる普通科高校（フレキシブル高校等）の調査〔6百万円〕

3. 人権の尊重・福祉の充実〔R7：153億円→R8：157億円（前年度比4億円（2.6%）増）〕
- (1)人権
- ①「三重県性暴力の根絶をめざす条例」に基づく推進計画の策定〔1百万円〕
- ②「部落差別解消条例（仮称）」制定及び「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」改正の検討〔1百万円〕
- ③「三重県カスタマーハラスメント防止条例（仮称）」の制定及び周知・啓発に加え、相談機能の強化〔19百万円〕
- (2)福祉
- ①ひきこもりに係る理解促進の啓発、当事者交流会の開催〔35百万円〕
- ②市町における包括的な支援体制のうち、先進性や有効性の高い取組をモデル事業として支援〔15百万円〕
- ③孤独・孤立対策に係る他分野連携プラットフォームの構築〔4百万円〕

II 未来を拓く

〔R7：484億円→R8：516億円（前年度比32億円（6.7%）増）〕

1. 時代の変化と潮流を捉えた産業振興〔R7：108億円→R8：114億円（前年度比6億円（5.3%）増）〕
- (1)中小企業・小規模企業への支援
- ①展示会・商談会への参加促進など輸出や販路開拓に向けた取組を支援〔47百万円〕
- (2)成長産業の育成、再生可能エネルギーの導入促進
- ①県外スタートアップ企業の新たな誘致に向けた実証フィールドを活用した取組を支援〔67百万円〕
- ②半導体関連産業のさらなる振興のため、方針を新たに策定するとともに、情報発信や半導体人材を育成〔21百万円〕
- ③ペロブスカイト太陽電池の実証支援〔15百万円〕
- ④洋上風力発電に係るサプライチェーン構築、データセンター等への再エネ電源を活用した取組の基礎調査や研究の実施〔5百万円〕
- (3)農林水産業の振興
- ①「三重の未来農業ビジョン（仮称）」の策定に向けた議論の実施〔11百万円〕
- ②節水型乾田直播栽培技術等の実証試験の実施〔10百万円〕
- ③「全国豊かな海づくり大会」のレガシーを継承するため、海業の取組を推進〔45百万円〕
- ④森林由来J-クレジット創出促進の取組〔14百万円〕

2. 観光振興と三重の魅力のプロモーション〔R7：19億円→R8：21億円（前年度比1億円（6.6%）増）〕
- (1)持続可能な観光地づくり
- ①三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光やガストロノミーツーリズムの推進〔47百万円〕
- ②高付加価値旅行者向けの上質な宿泊施設の誘致〔1,839百万円の内数〕
- ③国内外の旅行者が安全・安心かつ快適に滞在できる受入環境充実への支援〔626百万円〕
- ④JR関西線沿線の魅力的な観光資源の発掘・磨き上げ〔5百万円〕
- (2)インバウンド等に向けた戦略的な観光誘客
- ①データに基づく「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定〔1百万円〕
- ②高付加価値旅行者の誘致拡大に向けたレップの設置・拡大〔170百万円〕
- ③鉄道事業者との連携等によるゴールデンルートから県内への誘客促進〔40百万円〕
- ④主要空港からの県内誘客ルートに関する調査〔20百万円〕
- ⑤第63回神宮式年遷宮を契機に三重県への関心を高めるため、大都市圏向けのプロモーションを実施〔137百万円〕
- (3)世界遺産 熊野古道を生かした誘客
- ①市町が実施する、案内標識やトイレの整備への支援〔13百万円〕
- ②熊野古道伊勢路タクシーの実証運行〔20百万円〕
- (4)多様な主体と連携したプロモーション
- ①「美し国みえ」を掲げた統一感のある情報発信等の実施〔43百万円〕

3. 公共交通・インフラの整備〔R7：194億円→R8：203億円（前年度比9億円（4.7%）増）〕※直轄事業除き
- (1)公共交通の確保・充実
- ①タクシー事業者と市町が連携した新たな公共ライドシェアモデルの実証〔55百万円〕
- ②モビリティデータを活用した地域の最適な交通手段の導入支援や市町職員の“交通のプロ”を育成する実践的な講座の開設〔30百万円〕
- ③女性や若者向けのバス運転士体験会の開催〔4百万円〕
- (2)産業等を支えるインフラの整備
- ①地域間交流を促進する幹線道路ネットワークの強化〔18,494百万円〕
- ②リニア中央新幹線の開業や高速道路ネットワーク等の進展を見据えた道路ネットワークの検討〔6百万円〕

4. 住みやすさ・にぎわいの創出〔R7：21億円→R8：26億円（前年度比6億円（27.7%）増）〕
- (1)文化振興
- ①SOMPO美術館等と連携した「アルバルマルケ展（仮称）」等の開催〔85百万円〕
- ②東紀州地域の子どもの対象の県立文化施設体験バスツアーの実施〔5百万円〕
- ③斎宮歴史博物館リニューアル展示物の製作、史跡斎宮跡整備基本計画（仮称）策定〔229百万円〕
- (2)スポーツの推進
- ①三重県誕生150周年を契機に、未来を担う子どもたちを主役とする「美し国三重市町対抗駅伝」を開催〔30百万円〕
- ②特別支援学校の児童・生徒を対象に障がい者スポーツ教室を開催〔3百万円〕
- (3)環境
- ①環境学習情報センターの展示設備リニューアル〔11百万円〕
- ②環境学習情報センターでのペロブスカイト太陽電池を用いた体験型展示の実施〔10百万円〕
- ③ZEH基準を満たす住宅への補助金の創設〔12百万円〕
- (4)平和
- ①戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝える平和啓発の推進〔6百万円〕
- (5)多文化共生の推進
- ①日本語教育に関する総合窓口として、「みえ地域日本語教育支援センター（仮称）」を新設〔49百万円〕
- (6)行政サービスのDXの推進
- ①市町DX推進のためのデジタル専門人材派遣〔23百万円〕

5. 実効性のある人口減少対策の推進〔R7：141億円→R8：150億円（前年度比9億円（6.3%）増）〕
- (1)ジェンダーギャップ解消
- ①アンコンシャス・バイアスの解消に向けた取組の推進〔19百万円〕
- ②ジェンダーギャップ解消に資する企業の主体的・自主的な取組の促進〔6百万円〕
- ③条例制定に向けた検討の実施〔4百万円〕
- ④「働く子育て世帯を支える子どもの居場所づくり補助金」の新設による「みえ子ども・子育て応援総合補助金」の好事例の横展開〔30百万円〕
- (2)移住促進
- ①「三重県移住促進計画（仮称）」の策定〔7百万円〕
- ②AⅠを活用した移住相談の仕組みの構築〔3百万円〕
- (3)関係人口の創出等
- ①ポータルサイトの構築、人材の連携促進の仕組みづくり〔18百万円〕
- (4)自然減対策
- ①プレコンセプションケアに係る啓発セミナー・検査・助言の一体実施〔14百万円〕
- (5)若者の県内定着等
- ①三重で暮らす・働く魅力を若者等に対し多様な媒体で発信〔10百万円〕
- ②多くの若者に県内企業の求人情報が届くよう、新たに大手就職情報サイトとの連携を実施〔6百万円〕
- (6)外国人労働者の受入環境の整備
- ①県内企業を通じて、eラーニングを活用した日本語教育プログラムを実証〔10百万円〕
- (7)業種ごとの人材確保に係る課題への対応
- ①物流・交通、建設業、医師、薬剤師、看護職員、介護・福祉、保育士、農林水産業〔2,823百万円〕
- (8)南部地域の若者定着・人口還流等
- ①南部地域の関係人口創出に向けたコーディネーターの配置〔12百万円〕

6. 未来に向けた三重県誕生150周年記念事業〔R7：1億円→R8：3億円（前年度比2億円（205.4%）増）〕
- (1)三重県誕生150周年記念事業
- ①子どもたちに希望と笑顔を届ける記念式典等の開催〔53百万円〕
- ②「ふるさと三重」をキーワードとした探究学習の機会の創出〔2百万円〕
- ③防災関係機関と連携した防災フェスの開催〔13百万円〕